

第54回定期大会で「統一共闘課題」を決定

すべての組合は、「生産性の高い活動・働き方」と「生活時間の充実」の相乗効果による働きがい・生きがいの向上に向けた取組みの推進を!



～新たな活動・働き方の定着・浸透をめざして～

「統一共闘課題」とは?

私たち生保労連は、8月の定期大会で、年間を通じて全組合が取り組む「統一共闘課題」として、『生産性の高い活動・働き方』と『生活時間の充実』の相乗効果による働きがい・生きがいの向上に向けた取組みの推進」を掲げる方針を決定しました。

「統一共闘課題」とは、全組合が参加・共闘して取り組む課題のことを言います。2010春闘で初めて設定して以降、共闘効果・相乗効果を発揮する上で重要な機能を果たしています。

未来を見据えた 新たな活動・働き方の定着・浸透が一層求められている

これまでの各組合の精力的な取組みにより、オンライン活動やテレワークに関する制度・施策の整備が着実にはかられ、これらを柔軟に取り入れた活動・働き方は、今や常態化しつつあります。今後は、コロナ禍の状況に関わらず、これまでに導入された制度・施策の充実・改善をはかりつつ積極的に活用し、生産性を高めていくことが一層求められています。

また、昨年1月に策定した『職場におけるジェンダー平等』および『ワーク・ライフ・バランス』の着実な前進に向けた中期取組み方針<2021年1月-2025年8月>に沿って、ワークとライフ双方の充実をはかっていくことも引き続き重要となっています。

このような課題認識を踏まえ、今年度の「統一共闘課題」においては、新たな活動・働き方の定着・浸透を一層はかる観点から、右記の2点に取り組めます。

統一共闘課題

「生産性の高い活動・働き方」と「生活時間の充実」の相乗効果による働きがい・生きがいの向上に向けた取組みの推進

各組合は、それぞれの課題認識に基づき、以下の課題に重点的に取り組む。

1. 「生産性の高い活動・働き方」の推進

営業職員関係

- 新たな活動スタイルの定着、実効性向上（新規のお客さまとの接点確保・拡大、各種デジタルツールの活用促進 等）

内勤職員関係

- 柔軟な働き方の定着、実効性向上（テレワークをはじめとした柔軟な勤務制度の運用状況のチェック・フォロー、活用促進、メリハリある働き方の実現 等）

2. 「生活時間の充実」に向けた取組みの推進

- 総労働時間の短縮（年次有給休暇取得日数の増加 等）
- 両立支援制度の拡充・活用促進（男性の育児休業取得状況の改善 等）

誰もが安心と働きがい・生きがいをもてる職場の実現に取り組む

生保労連は、組合員のみなさんが新たな環境下においても安心と働きがい・生きがいをもって仕事に従事できるよう、各組合の労使協議や取組みを一層後押ししていきます。